

平成 1 8 年度
農作物病害虫発生予察 2 月月報

平成 1 9 年(2007年) 3 月 2 日
山 口 県 病 害 虫 防 除 所

I 気象概況

山口市大内御堀

月・半旬	気 温 (°C)								
	9 時			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
2.1	1.3	1.6	△ 0.3	10.0	8.0	2.0	-2.0	-1.3	△ 0.7
2.2	7.5	2.1	5.4	15.4	9.0	6.4	5.0	-1.0	6.0
2.3	5.5	2.7	2.8	13.1	10.0	3.1	0.9	-0.8	1.7
2.4	5.2	3.6	1.6	12.5	9.9	2.6	1.6	0.0	1.6
2.5	5.1	3.6	1.5	14.2	9.7	4.5	1.3	0.1	1.2
2.6	5.7	3.8	1.9	15.2	10.1	5.1	0.7	0.1	0.6
平均・計	5.0	2.8	2.2	13.4	9.4	4.0	1.3	-0.5	1.8
月・半旬	湿度 (%)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
	2.1	98.8	91.7	7.1	0.0	13.8	△ 13.8	22.0	19.9
2.2	96.3	93.2	3.1	8.0	12.8	△ 4.8	13.5	22.3	△ 8.8
2.3	89.6	90.6	△ 1.0	27.0	14.5	12.5	36.4	23.8	12.6
2.4	98.6	86.8	11.8	30.0	23.4	6.6	20.0	21.3	△ 1.3
2.5	94.6	87.3	7.3	8.0	18.5	△ 10.5	29.4	20.8	8.6
2.6	85.9	91.2	△ 5.3	0.0	13.4	△ 13.4	23.1	14.4	8.7
平均・計	94.0	90.1	3.8	73.0	96.4	△ 23.4	144.4	122.5	21.9

II 作物の生育状況

タマネギ：平年よりかなり気温が高めに推移していることから、早生種では生育は前進化しており、収穫も早まる見込み。また、中晩生種も生育は良好である。

イチゴ：現在、第1次腋花房収穫中。第2次腋花房も連続して収穫できる見込み。気温が高めに推移していることから、果実はやや小玉傾向である。

Ⅲ 病害虫の発生概況

1 果樹

2007年2月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
カンキツ (調査ほ場数:22) かいよう病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率は31.8% (平年22.3%)、発病葉率は4.2% (平年2.2%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 605
ミカンハダニ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率54.5% (平年18.6%)、寄生葉率4.2% (平年1.0%)、10葉当たり雌成虫数0.9頭 (平年0.3頭) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 1,036

2 野菜

2007年2月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
タマネギ (調査ほ場数: 中旬 9, 下旬21) 白色疫病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年2.8%)、発病株率0% (平年0.1%)、1a当たり発病株数0株 (前年0株) で平年並みであった。	—	—
べと病	上旬の巡回調査では、越年り病株の発生ほ場率0% (平年0%)、発病株率0% (平年0%)、1a当たり発病株数0株 (平年0.01株) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、越年り病株の発病ほ場率0% (平年0.9%)、発病株率0% (0.01%)、1a当たり発病株数0株 (平年0.1株) で平年並みであった。なお、防府市西浦の定期巡回調査以外のほ場で越年り病株の発生を認めた。 越年り病株の初発生は1月29日 (平年2月19日) に山口市大内の県予察ほで認められ、平年に比べ早かった。	県内全域	少 1
ボトリス属菌による 葉枯れ症 (白斑葉枯病)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年5.3%)、発病株率0% (平年2.0%) で平年並みであった。	—	—
腐敗病	下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—
イチゴ (調査ほ場数:41) 灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率12.2% (平年11.5%)、発病株率0.8% (平年0.5%)、発病果率0.1% (平年0.1%) で平年並みであった。	県内全域	多 3 少 11 計 14
うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率9.8% (平年25.0%)、発病株率1.1% (平年2.3%)、発病葉率0.3% (平年0.7%)、発病果率0.1% (平年0.3%) で平年並みであった。	県内全域	少 11

2007年2月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イチゴ 菌核病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.9% (平年0.6%)、発病株率0.1%(平年0.02%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 6
萎黄病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率7.3% (平年0.6%)、発病株率2.2%(平年0.03%) で平年に比べ多かった。	県内全域	甚 3 <u>少 5</u> 計 8
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率22.0% (平年21.7%)、寄生株率1.6%(平年5.3%) で平年に比べやや少なかった。 優占種はワタアブラムシであった。	県内全域	中 3 <u>少 22</u> 計 25
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率51.2% (平年34.1%)、寄生株率20.6%(平年11.0%) で平年に比べ多かった。 優占種はナミハダニであった。	県内全域	甚 14 多 8 <u>少 37</u> 計 59
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年0.7%)、寄生株率0%(平年0.01%) で平年並みであった。	県内全域	—

注) イチゴ菌核病、萎黄病は、過去9年間の平均値を平年値とした。

お問い合わせは山口県病害虫防除所へどうぞ

電 話 083-927-4006
F A X 083-927-4071
テレホンサービス 083-927-4649

作物 担当者
普通作：野崎(病害) 中川浩二(虫害)
果 樹：藤村(病害) 殿河内(虫害)
野 菜：岡田(病害) 岩本(虫害)
茶 : 中川浩二(病害虫)